

II. 事業の概要等

1. 事業の概要

(1) 教育環境整備

- ① 新教育棟（11号館）は、平成20年3月に完成し、本年度から1階自習室は学生の自学自習に、2階コンピュータ演習室は情報リテラシー、早期体験学習の課題調査並びに大学院演習に、3階講義室は学部講義に、4階演習室は大学院の演習及び早期体験学習のsmallグループディスカッションに、5～6階の実務実習事前教育施設は平成21年度からの実務実習事前教育の実施に向けてシミュレーションを行うなど、各施設は有効に利用されている。また、4年次生を対象に、薬学共用試験 CBT 実施施設である2階コンピュータ演習室では CBT トライアルを、5～6階の実務実習事前教育施設では OSCE トライアルを実施し、それぞれ本番に向けての検証を行った。
- ② 病院・薬局実務実習については、薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構に参画し、4年次生の実務実習を実施するとともに6年制課程の5年次生で実施する実務実習施設の確保に努めた。

(2) 学外連携の推進

神戸大学医学部との連携により、神戸大学連携開講科目として、本年度から「初期体験臨床実習」を実施し、選抜された本学1年次学生50名は神戸大学医学部医学科及び保健学科の学生との混成チームにより病院等における体験学習を行った。また、これに先立ち、本学ききょう記念ホールでオリエンテーションを行い、本学1年次生全員と神戸大学医学部医学科及び保健学科の学生が参加した。オリエンテーションでは、将来の医療人としての自覚を持たせることを目的として、がん患者でもある医師、先天的障害をもつ子供の母親と障害者の方の講演会を開催した。

(3) 薬剤師国家試験の取組強化

国家試験対策委員会（国試対策プロジェクトチーム）のもとに、薬剤師国家試験の成績向上のための指導を行った結果、256名の新卒者が受験し、236名が合格した。合格率は、92.19%であった。

(4) 大学評価において大学基準適合認定を受けた

自己点検・評価委員会が中心となり自己点検・評価報告書を作成し、(財)大学基準協会に大学評価（認証評価）を申請し、2009（平成21）年3月12日付で(財)大学基準協会の大学基準に適合していると承認され「大学基準適合認定証」を受けた。
認定期間は、2009（平成21）年4月1日より2016（平成28）年3月末までの7年間。

(5) 学生サービスの向上

学生へのサービスの向上を図り、学生支援体制を充実させるため、3号館を改修し1階に「学生支援センター」（教務課・学生課・就職課）を設置した。

(6) 研究環境整備及び重点研究の推進

研究設備等充実委員会で選定した、研究機器及び実習機器を購入し教育研究環境を整備した。大学院薬学研究科ハイテク・リサーチ・センター整備事業の完成年として（平成16年度～20年度）、「生物有機化学的アプローチによる天然資源由来ガン治療薬の開発」及び「神経性疾患の病因、病態の解明および臨床診断法と治療薬の開発」の2つの研究開発プロジェクトを推進した。また、2009（平成21）年3月に第6回神戸薬科大学ハイテク・リサーチ・シンポジウムを開催した。

(7) その他の施設・設備整備

監視カメラの設置（正門、北門、西門）、窓ガラス防犯フィルムの設置など学内の防犯並びに警備の強化を図った。3号館の耐震補強工事を行うとともに3講義室も改修を行い液晶プロジェクター等を設置し、教育環境の整備を図った。以上